

令和4年度（2022年度）

第1回

宇部市地域包括支援センター運営協議会

健康福祉部 地域福祉課・高齢者総合支援課

議題

- 1 令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センターの事業報告について
（資料3・4・5）
- 2 令和4年度（2022年度）宇部市地域包括支援センターの事業計画（案）について
（資料6・7）
- 3 令和3年度（2021年度）「福祉なんでも相談窓口」事業実施状況（資料8）
及び令和4年度（2022年度）事業について（資料9）

資料

- 1 宇部市地域包括支援センター運営協議会委員名簿
- 2 宇部市地域包括支援センター運営協議会設置要綱 資料1
- 3 宇部市地域包括支援センター圏域内設置図及び令和4年度（2022年度）
圏域別人員配置比較一覧表 資料2
- 4 令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センター事業報告 資料3
- 5 令和3年度（2021年度）宇部市地域包括支援センター収支決算書 資料4
- 6 令和3年度（2021年度）介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント
委託先一覧 資料5
- 7 令和4年度（2022年度）宇部市地域包括支援センター事業計画 資料6
- 8 令和4年度（2022年度）宇部市地域包括支援センター収支予算書 資料7
- 9 令和3年度（2021年度）「福祉なんでも相談窓口」事業実施状況に
ついて 資料8
- 10 令和4年度（2022年度）「福祉なんでも相談窓口」の取り組みについて 資料9

宇部市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

敬称略

区分	関 係 団 体 等	氏 名
地域医療	宇部興産中央病院	清水 昭彦
学識経験者	宇部フロンティア大学	清水 佑子
関係団体等 代表者	宇部市医師会	山本 光太郎
	山口県介護福祉士会	臺 真由美
	山口県訪問看護ステーション協議会	原田 夕香
	山口県デイサービスセンター協議会	野上 勝江
	宇部市老人福祉施設連絡協議会	吉久 浩之
	宇部市介護支援専門員協議会	田久保 好美
	山口県社会福祉士会	安光 洋平
	宇部市民生児童委員協議会	川崎 雅行
	山村後いきいき健康サロン 代表	山本 隆士
公募委員	公募委員	唐藤 和子

宇部市地域包括支援センター運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 地域包括支援センター（以下「センター」という。）の適切な運営、公正・中立の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図るため、宇部市地域包括支援センター運営協議会（以下「運営協議会」という。）を設置する。

(構成員等)

第2条 運営協議会は、次に掲げる者から、センターの公正・中立性を確保する観点から、地域の実情に応じて市長が選定する。なお、構成員は非常勤とし、再任することができる。

- ① 介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者及び職能団体
- ② 介護サービス及び介護予防サービスの利用者、介護保険の被保険者（1号及び2号）
- ③ 介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護、相談事業等を担う関係者
- ④ 前各号に掲げるもののほか、地域ケアに関する学識経験を有する者

2 運営協議会には会長を置く。会長は、構成員の互選により選任する。

(所掌事務)

第3条 センターの設置等に関する次に掲げる事項の承認に関すること

- ① センターの設置、変更及び廃止並びにセンターの業務の法人への委託又はセンターの業務を委託された法人の変更
- ② センターの業務を委託された法人による総合事業及び予防給付に係る事業の実施
- ③ センターが第1号介護予防支援事業及び予防給付に係るマネジメント業務を委託できる居宅介護支援事業所
- ④ その他運営協議会がセンターの公正・中立性を確保する観点から必要であると判断した事項

2 センターの運営に関すること

① 運営協議会は、毎年度ごとに、センターより次に掲げる書類の提出を受けるものとする。

- ア 当該年度の事業計画書及び収支予算書
- イ 前年度の事業報告書及び収支決算書
- ウ 前年度のセンターの運営状況に関する評価の結果
- エ その他運営協議会が必要と認める書類

② 運営協議会は、①イの事業報告書及び①ウの評価結果によるほか、次に掲げる点を勘案しながら市が作成した基準に基づき、定期的に又は必要な時に、事業内容を評価するものとする。

- ア センターが作成するケアプランにおいて、正当な理由なく特定の事業者が提供するサービスに偏りがいないか
- イ センターにおけるケアプランの作成の過程において、特定の事業者が提供するサービスの利用を不当に誘因していないか
- ウ 福祉の総合相談窓口として機能を果たしているか
- エ その他運営協議会が地域の実情に応じて必要と判断した事項

3 センターの職員の確保に関すること

運営協議会は、センターの職員を確保するため、必要に応じ、運営協議会の構成員や、地域の関係団体等の間での調整を行う。

4 その他の地域包括ケアに関すること

運営協議会は、地域における介護保険以外のサービス等との連携体制の構築、地域包括支援業務を支える地域資源の開発その他の地域包括ケアに関する事項であって運営協議会が必要と判断した事項を行う。

(事務局)

第4条 運営協議会の事務局は、宇部市高齢者総合支援課に置く。

附 則

この要綱は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

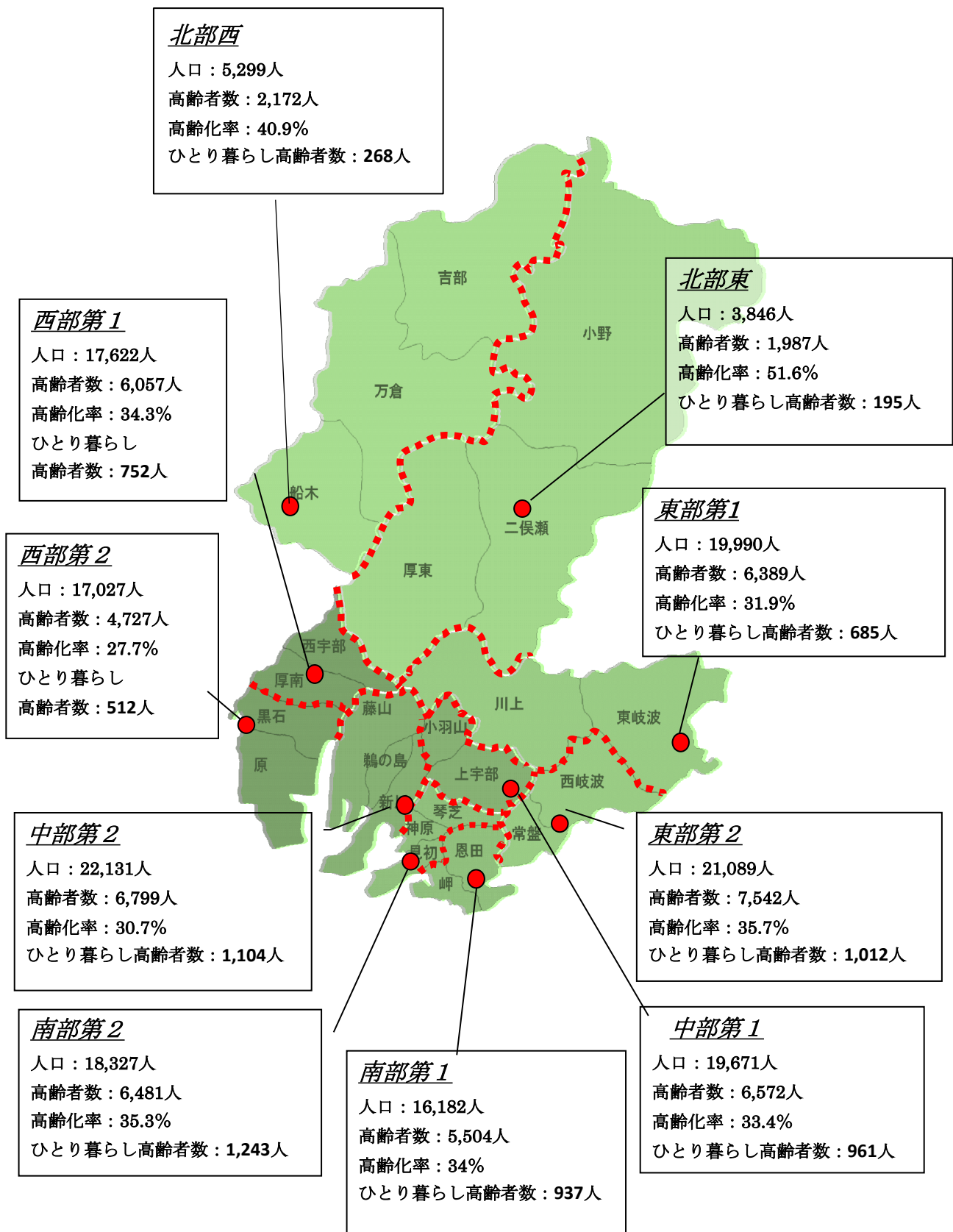
この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年6月1日から施行する。

宇部市地域包括支援センター圏域内設置図

R4.4.1現在



令和4年度（2022年度）圏域別人員配置比較一覧表

圏域	担当圏域	高齢者数	給付管理数	包括的支援事業等の実施に必要な人員	指定介護予防事業担当者
東部	東部第1	6,389	2,315	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	東部第2	7,542	3,822	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
西部	西部第1	6,057	3,225	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	西部第2	4,727	2,224	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
中部	中部第1	6,572	3,536	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	中部第2	6,799	3,771	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
北部東	全域	1,987	1,274	保健師1人 社会福祉士1人	1人
北部西	全域	2,172	1,357	保健師1人 社会福祉士1人	1人
南部	南部第1	5,504	2,911	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	1人
	南部第2	6,481	3,921	保健師1人 社会福祉士1人 主任介護支援専門員1人	2人
合計		54,230	28,356	28人	14人

(高齢者数及び各配置人員数は令和4年4月1日時点、給付管理数は令和4年3月件数)

**令和3年度（2021年度）
宇部市地域包括支援センター
事業報告**

令和3年度 地域包括支援センター業務実績報告書

【 1 総合相談支援業務 】

(1) 総合相談の件数及び把握経路

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
訪 問	新 規	30	152	29	34	44	38	9	11	152	10	509
	延 べ	1,658	3,168	1,177	1,348	2,774	752	684	1,175	1,461	1,368	15,565
電 話	新 規	254	282	136	159	136	108	44	56	196	234	1,605
	延 べ	3,715	5,530	1,670	2,233	4,376	393	1,623	1,194	1,412	1,278	23,424
来 所	新 規	37	74	49	71	45	41	7	13	81	46	464
	延 べ	209	226	141	189	629	90	51	66	169	146	1,916
文書・メール	新 規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	延 べ	50	0	13	0	0	0	27	29	0	50	169
その他	新 規	3	0	0	4	0	0	6	7	0	0	20
	延 べ	20	0	197	26	0	0	102	47	0	0	392
合 計	新 規	324	508	214	268	225	187	66	87	429	291	2,599
	延 べ	5,652	8,924	3,198	3,796	7,779	1,235	2,487	2,511	3,042	2,842	41,466

(2) 周知啓発活動

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
総合相談センターについて	回数	48	52	26	36	3	1	60	28	9	98	361
	対象者数	1,088	1,414	2,847	612	43	7	361	1,685	108	2,879	11,044
地域づくりに関すること	回数	0	0	0	6	9	0	3	5	0	9	32
	対象者数	0	0	0	123	199	0	64	163	0	149	698
総合事業について	回数	0	11	0	0	0	0	0	1	0	2	14
	対象者数	0	80	0	0	0	0	0	7	0	58	145
介護予防に関すること	回数	3	16	4	42	0	1	7	14	3	25	115
	対象者数	87	212	61	500	0	9	74	146	38	366	1,493
認知症に関すること	回数	1	20	8	1	4	2	4	18	5	12	75
	対象者数	26	412	240	16	36	13	76	375	110	473	1,777
高齢者虐待防止に関すること	回数	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
	対象者数	0	8	20	0	0	0	0	36	0	0	64
成年後見制度に関すること	回数	0	1	1	0	0	0	2	1	4	41	50
	対象者数	0	8	7	0	0	0	13	36	33	656	753
消費者被害に関すること	回数	0	0	5	0	1	0	0	2	1	0	9
	対象者数	0	0	563	0	100	0	0	12	16	0	691
終活に関すること	回数	2	50	21	0	0	28	2	2	0	2	107
	対象者数	42	50	39	0	0	37	12	10	0	38	228
その他	回数	8	2	18	26	0	1	7	1	14	57	134
	対象者数	164	43	132	250	0	8	106	7	78	830	1,618
合 計	回数	62	153	84	111	17	33	85	73	36	246	900
	対象者数	1,407	2,227	3,909	1,501	378	74	706	2,477	383	5,449	18,511

【 2 包括的・継続的ケアマネジメント】

(1) サービス担当者会議

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
サービス担当者会議の出席回数	172	267	95	100	285	151	75	33	194	226	1,598

(2) 同行訪問による介護支援専門員等への支援

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
直営担当ケアマネジメント	0	0	3	8	13	0	0	3	4	15	46
委託分ケアマネジメント	4	0	1	3	32	2	0	2	23	51	118
支援困難事例の後方支援	8	141	4	1	5	5	1	3	18	21	207
その他	1	0	6	0	2	0	4	2	2	8	25
合計	13	141	14	12	52	7	5	10	47	95	396

(3) ケアプラン作成指導を通じた介護支援専門員等への支援

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
介護予防ケアマネジメントのプラン確認数	101	128	210	117	170	485	33	45	231	177	1,697
介護予防ケアマネジメントの評価表確認数	227	479	637	374	529	1,082	187	191	350	593	4,649
(予防) プラン作成指導を通じたケアマネジメント指導	0	0	0	0	0	0	0	21	19	17	57
(介護) プラン作成指導を通じたケアマネジメント指導	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5
合計	328	607	847	491	699	1,567	220	258	604	787	6,408

(4) 研修会等に関する状況

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
ケアマネジメントの質の向上のための研修会の回数	3	2	32	30	1	3	1	5	7	18	102
多職種連携に関する研修会や事例検討会、会議等の回数	23	48	17	8	1	0	5	7	36	80	225
合計	26	50	49	38	2	3	6	12	43	98	327

(5) 地域ケア会議

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
地域ケア個別会議の開催回数	5	2	5	3	15	0	0	1	8	2	41
ブロック会議の開催回数	1	1	2	1	1	1	2	2	2	1	14
合計	6	3	7	4	16	1	2	3	10	3	55

(6) 他機関との連携

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
退院情報連絡システム	8	44	177	6	7	1	0	6	20	53	322
非該当への対応	0	4	7	0	0	0	0	1	1	1	14
合計	8	48	184	6	7	1	0	7	21	54	336

【 3 介護予防支援及び介護ケアマネジメント 】

給付管理件数

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
直 営	新 規	64	73	33	43	25	24	26	23	31	33	375
	継 続	1,282	2,255	1,178	1,172	877	784	648	780	1,322	2,085	12,383
	終 了	47	84	23	51	12	4	25	18	3	29	296
委 託	新 規	59	69	59	49	87	83	13	13	86	107	625
	継 続	1,002	1,567	2,011	1,085	2,635	2,890	629	578	1,527	1,778	15,702
	終 了	45	58	33	74	19	6	17	19	28	53	352
合 計		2,315	3,822	3,225	2,224	3,593	3,771	1,274	1,357	2,935	3,921	28,437

【 4 権利擁護業務 】

(1) 権利擁護に関する対応

		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
法定成年 後見制度	新 規	3	3	0	1	2	6	1	0	3	0	19
	延 べ	6	8	0	0	0	8	1	2	4	1	30
	専門機関につながった	2	0	0	0	0	5	0	1	2	0	10
任意後見 人制度	新 規	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
	延 べ	0	5	0	7	0	0	0	0	1	1	14
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域福祉 権利擁護 事業	新 規	0	10	0	1	0	4	1	1	2	0	19
	延 べ	0	23	0	1	0	4	1	1	4	1	35
	専門機関につながった	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0	6
消費者被 害	新 規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延 べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終活に関 すること	新 規	0	50	0	0	17	45	0	14	0	0	126
	延 べ	0	50	0	0	0	45	0	0	0	0	95
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	新 規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	延 べ	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	5
	専門機関につながった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	新 規	3	64	0	2	19	55	2	15	6	2	168
	延 べ	6	86	0	8	0	59	2	3	11	4	179
	専門機関につながった	2	1	0	0	0	7	0	2	4	0	16

よりそい法律相談

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
法テラス	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
法テラス外	2	0	2	2	0	0	0	2	0	0	8
包括	0	0	0	1	0	0	1	1	0	9	12
合 計	3	0	3	3	0	0	1	3	0	9	22

(2) 養護者による高齢者虐待の通報件数

通報経路

	東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	合計
高齢者本人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
虐待者本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族親族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
住民知人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関	0	0	0	1	1	2	1	0	4	4	13
警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	2	2	1	0	5	7	18

令和3年度（2021年度） 宇部市地域包括支援センター事業実施報告

1 担当する圏域の課題に対する取り組み

センター名	具体的な取組
東部第1	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーや金融機関等でコロナ感染予防を行いながら東部第2包括、地域・保健福祉支援チームと協力しながらチラシ等を用いて相談窓口や介護予防、健康づくりの啓発を実施→6回/年（年金月にまるき、吉田郵便局） ・サロンや地域住民、小中学校等を対象として認知症サポーター養成講座の実施し認知症に対する理解や知識を深める。アンケートを実施し認知症に対する認識や不安等を把握し見守りや支援体制に活かした。※コロナ禍によりサポーター養成講座は未実施。包括カフェにて認知症に関するアンケート実施 ・社会福祉協議会、地域・保健福祉支援チーム、何でも相談員と連携し支え合い会議を開催し地域課題を把握する。また、民生児童委員、地域住民等やケアマネジャーが抱える個別のケースについては個別の地域ケア会議を開催し情報共有やチームでの支援体制の構築。→地域個別ケア会議：4回/随時
東部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉相談室の継続開催→介護健康教室、健康相談窓口参加数 377名/300名 ・地域サロン教室などあらゆる場面を活用した総合事業の普及啓発活動→80名/11回 ・広報誌を年3回発行し、各関係団体とのネットワーク構築を行う→広報誌3回/3回 ・地域支え合い会議開催→西岐波1回/5回 常盤 3回/5回 ・地域（団体・支援者）との情報共有 各校区5回以上 ・認知症サポーター養成講座 登録者数200名以上（両校区 1回以上） ・認知症カフェ開催に向けた取り組み 認知症啓発イベント 2回以上
西部第1	<ul style="list-style-type: none"> ・西宇部地区民生委員福祉委員研修会、厚南際波地区フレイル研修会（コロナ感染防止で中止） ・まちなか保健室などに協力→フレイル予防講座（厚南）、フレイル予防講座（西宇部）、栄養について（厚南健康講座） ・チャレンジデー→厚南地区：40人、西宇部地区：34人 ・相談会の開催→ちいき相談室（健康・介護・福祉：11回、計45人） ・地域主催の健康教室やサロンへの支援「集いの場」づくりへの支援→教室・サロンの訪問助言（11か所、延べ20回） ※内容 口頭説明 チラシ配布（地域包括の業務説明13回 健康指導8回）、新設サロン訪問（1か所、2回）、サロン新設準備の会議（1回） ・あらゆる場を活用した健康づくり・介護予防の啓発→おげんきだよりへの掲載（2回）
西部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・5か所の健康教室で感染対策を行いながら、体操や体力測定等を行い、運動機能向上を目指す。→健康教室/サロン、全42回実施 ・地域行事、健康教室等で健康診断の受診を促すことで、健康づくりの意識付けを行う→ご近所福祉等、全27回実施 ・自治会および中学校で、黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと共同で認知症サポーター養成講座を開催する。→認知症サポーター養成講座（黒石中学校：1.2年生対象）1回開催 ・西部第1地域包括支援センターと共同で、認知症カフェ（おれんじかぞく）を開催する。→認知症カフェ2回開催 ・地域の課題を見いだせるように、地域ケア会議の開催を行う。→地域ケア会議1回実施 ・多様な問題を抱える高齢者を地域で支える体制を整えるため、ケースに応じて地域の関係者や専門職を招集し、地域個別ケア会議を開催する。→地域ケア個別会議 3回実施
中部第1	<ul style="list-style-type: none"> ・上宇部会館・小羽山ふれあいセンター・集会所にて介護予防について啓発活動→2回 ・講和の開催（オレオレ詐欺について）→地域住民100名 ・認知症カフェ→1回（小羽山：参加者15名） ・地域ケア会議の開催回数→2回（当事者参加型） ・地域ケア会議開催回数→17件 ・看護学校での出前講座→2回実施。 ・宇部警察署との連携 独居の方の安否確認等→5件

<p>中部第2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンや健康教室、集いの場において専門職を招いて健康体操や健康に関する紹介を行い、介護予防への取り組み推進の実施。→サロン1か所 4回（専門職派遣事業PT、運動型デイサービス・市の保健師・ヤクルト）、健康教室1か所 1か所3回（市の保健師・訪問看護PT・デイサービス） ・民生委員や自治会、地域の集まりで認知症サポーター養成講座を開催し地域の方と共に認知症に対する理解と対応方法を学ぶ。→認知症サポーター養成講座：2回 ・新川支え合い会議を開催し、地域課題や新たなイベント（介護予防・認知症関連）の立ち上げを提案し支援を行う。→新川ささえあい会議：5回 ・鶴の島会議に参加し、高齢者の立場で防災に関する困りごとを地域に向けた発信を行う。→うのしま会議：5回 ・藤山校区の支援チームや市社協と協力しながら地域の関係機関と連携し、実情の把握を行う。→地域共生社会イベント（作品展1回 レノファ山口観戦1回）
<p>北部東</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンや集いの場での介護予防に関する出前講座を実施する。→出前講座：9回/3回 ・郵便局など住民がよく利用する場所へ協力を要請し、健康チェックや介護相談を実施する。→介護相談：1回/3地区に1回 ・広報誌：「北部東だより」の発行。→2回/2回 ・支援チーム、地域団体と連携し地域行事やサロンなどでスポーツ体験講座やミニスポーツ大会の実施。（ポッチャ、ラダーゲッターなど）→スポーツ体験講座、小野：6回、二俣瀬：2回 ・地域のサロン等での認知症についての出前講座を行う。→3回/2回 ・支援チームと連携しながら、認知症サポーター養成講座の開催→4機関/2機関 ・当センター職員がキャラバン・メイト養成講座に参加する→1名/1名 ・「福祉れんらく票」の活用や地域の課題を協議する場の開催。徘徊模擬訓練の開催→厚東地区：1回/4回、二俣瀬地区：1回/1回、小野地区：9回/10回
<p>北部西</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンへの参加。→20回/15回 ・健康相談会で総合事業の周知活動を行う。→12回/12回 ・万倉健康福祉部会など地域団体と連携し、健康づくりの推進を図る。→福祉交流会：2回/2回 ・認知症サポーター養成講座の開催→認サポ：吉部1/1回、万倉2/1回、船木1/1回、その他2回/0 ・認知症カフェの開催と周知→認カフェ：5回/6回 ・認知症SOS模擬訓練の開催→SOS：1/1回 ・地域の施設やイベント時に認知症啓発の展示を行う。→認知症啓発：9か所/3か所 ・船木校区における地域支え合い会の開催→船木支え合い会議：12回/10回 ・万倉健康福祉部会の会議を支え合い会議の開催→万倉支え合い会議：5回/2回 ・地区社協主催の福祉交流会への参加→福祉交流会：2回/2回
<p>南部第1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内3箇所のサロンへ毎月参加し、感染対策等に留意して継続開催に向けたバックアップを行う。→3箇所のサロン合計開催数：28回/年 ・各サロンの実情に応じた、健康づくりや介護予防に関する企画を検討し、参加者の意識向上を図る。→健康づくりや介護予防に関する企画：10回 ・南部第2 高齢者総合相談センターと合同で、フジグラン介護相談会を毎月開催し、相談を受け付けるとともに、周知啓発活動を行う。→フジグラン介護相談会11回/年 ・認知症サポーターの養成 7名/30名 ・認知症カフェの開催支援 1ヶ所 ・支え合い会議の開催（恩田地区）→1回/2ヶ月 ・支援チーム、社協と共に支え合い会議充実のための打ち合わせ→1回/2ヶ月 ・南部ブロック会議（地域ケア会議）の開催→2回/2回
<p>南部第2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の健康相談会を継続して開催し、参加者の健康課題の把握と介護予防に関する知識の普及に努める。→3地区で健康相談会は予定通り実施したが、その他はチラシによる周知活動のみになった。 ・各地区で認知症サポーター養成講座を開催する。→3地区/3地区 ・ブロック会議での事例検討や地域ケア会議を通じて、地域課題を検討し地域支援体制の強化をはかる。→コロナ禍により支えあい会議が開催できなかった地区がある。

※各センターとも、コロナ禍の状況にありながら地域の中へ入っていき、顔の見える関係づくりに努めることで地域課題の共有や課題解決に向けて取り組んでいる。

令和3年度（2021年度）
宇部市地域包括支援センター
収支決算書

令和3年度（2021年度）地域包括支援センター収支決算書 まとめ

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	
運営法人		社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会	
歳入	包括的支援事業	21,161,120	23,532,443	24,722,175	21,652,070	24,589,850	23,865,990	14,128,281	15,260,189	24,849,797	24,461,950	
	指定介護予防支援事業	6,820,580	10,539,462	7,751,700	5,605,790	9,184,391	10,868,686	3,394,351	4,385,561	8,460,925	10,310,390	
	歳入合計	27,981,700	34,071,905	32,473,875	27,257,860	33,774,241	34,734,676	17,522,632	19,645,750	33,310,722	34,772,340	
歳出	人件費	包括的支援事業	14,371,663	17,843,704	16,027,428	14,339,990	17,938,399	15,445,762	10,817,812	12,463,563	16,639,646	16,015,237
		指定介護予防支援事業	4,169,279	4,544,722	4,277,878	2,283,249	3,030,787	2,756,226	2,722,214	2,224,561	5,665,511	6,750,211
		計	18,540,942	22,388,426	20,305,306	16,623,239	20,969,186	18,201,988	13,540,026	14,688,124	22,305,157	22,765,448
	事務費	包括的支援事業	6,789,457	5,688,739	8,694,747	7,312,080	6,651,451	8,420,228	3,310,469	2,796,626	8,210,151	8,446,713
		指定介護予防支援事業	2,638,746	5,994,740	3,473,822	2,231,592	6,153,604	8,112,460	2,137,345	2,161,000	2,795,414	3,560,179
		計	9,428,203	11,683,479	12,168,569	9,543,672	12,805,055	16,532,688	5,447,814	4,957,626	11,005,565	12,006,892
歳出合計	27,969,145	34,071,905	32,473,875	26,166,911	33,774,241	34,734,676	18,987,840	19,645,750	33,310,722	34,772,340		
収支差額		12,555	0	0	1,090,949	0	0	-1,465,208	0	0	0	

【再掲】 包括的支援事業（市受託分について）

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2
運営法人		社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会
歳入	委託料	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	16,704,000	11,758,000	11,758,000	16,704,000	16,704,000
	介護予防ケアマネジメント 費収入	4,451,120	6,821,910	7,193,830	4,948,070	7,885,850	7,161,990	2,370,240	3,411,740	5,864,480	7,757,950
	その他の収入	6,000	6,533	824,345	0	0	0	41	90,449	2,281,317	0
	合計	21,161,120	23,532,443	24,722,175	21,652,070	24,589,850	23,865,990	14,128,281	15,260,189	24,849,797	24,461,950
歳出	人件費	14,371,663	17,843,704	16,027,428	14,339,990	17,938,399	15,445,762	10,817,812	12,463,563	16,639,646	16,015,237
	事務費	6,789,457	5,688,739	8,694,747	7,312,080	6,651,451	8,420,228	3,310,469	2,796,626	8,210,151	8,446,713
	合計	21,161,120	23,532,443	24,722,175	21,652,070	24,589,850	23,865,990	14,128,281	15,260,189	24,849,797	24,461,950
差引収支額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和3年度（2021年度）

宇部市地域包括支援センター

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント
委託先一覧

健康福祉部 地域福祉課・高齢者総合支援課

第 1 号介護予防支援事業に係る公正・中立性評価基準

公正・中立性の観点から留意する項目 (評価項目)	指標	評価基準	
第 1 号介護予防支援事業	<p>正当な理由なく、当該地域包括支援センターが所属する法人内の事業所に偏った第 1 号介護予防支援事業を実施しない。</p>	<p>【対象者】 給付管理実績のある居宅介護支援事業所への委託を含む全利用者</p> <p>【評価期間】 当該年度（4月～3月）で評価を行う。</p> <p>【評価方法】 ①第 1 号訪問事業を位置づけた全利用者のうち、当該地域包括支援センターが所属する法人を位置づけた利用者総数の割合 ②第 1 号通所事業を位置づけた全利用者のうち、当該地域包括支援センターが所属する法人を位置づけた利用者総数の割合</p>	<p>評価期間において、評価方法の①及び②を合わせた割合が、50%未満。 ただし、50%以上であっても、正当な理由（※）がある場合は除く。</p>
<p>※正当な理由 1 複数の事業所を紹介するなど適切なケアマネジメントを通じ利用者の希望を勘案した結果、当該法人（事業所）に集中している場合 2 事業所が廃止された場合</p>			

※この評価基準については、随時、宇部市地域包括支援センター運営協議会に諮り、必要な見直しを実施する。

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（東部第1包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会医療法人いち樹会	尾中病院居宅介護支援事業所	4月			1		1
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	1		10	10	21
有限会社エムエッチティー企画	あじす陽だまりの家居宅介護支援事業所	4月	1		1		2
社会福祉法人むべの里光栄	日の山園在宅介護支援センター	4月	3	1	30	9	43
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月			12		12
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月		1		9	10
株式会社妃先介護事業所	ケアマネセンター春	4月			12		12
医療法人太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月			23		23
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月	1	3	36	28	68
ホームナース立花	立花居宅介護支援事業所	4月	1	1	23	12	37
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月			12		12
社会福祉法人むべの里光栄	オパール光栄在宅介護支援センター	4月	4	6	81	93	184
社会福祉法人むべの里光栄	あすとびあ光栄在宅介護支援センター	4月	1	1	16	8	26
有限会社くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月			12		12
社会福祉法人むべの里光栄	上宇部居宅介護支援事業所	4月			17	6	23
社会福祉法人むべの里光栄	ケアタウン日の山園在宅介護支援センター	4月		12	83	75	170
合同会社いまむら	いまむら居宅介護支援事業所	4月	2		42	3	47
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	1	1	22	7	31
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所 かもめ	4月			14	10	24
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス海の家	4月	1		21	15	37
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月			4		4
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑	4月				10	10
一般社団法人宇部医師会	宇部医師会在宅介護支援センター	4月			12	5	17
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFunToLife	4月	2		49	11	62
社会福祉法人ひとつの会	宇部あいおい苑	4月					
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			12		12
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月					0
社会福祉法人ひとつの会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月			10		10
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月			13		13
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月		1	12	13	26
特定非営利活動法人 ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	3		21		24
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	3		28	32
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月			12		12
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月			12		12
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院	6月	3		12		15
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	7月		3	1	9	13
株式会社レナール	オアシスことしばケアセンター	3月	1				1
総 計	37事業所		26	33	638	361	1058

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（東部第2包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療生活協同組合 健文会	宇部協立在宅介護支援センター	4月		2	53	24	79
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	1	2	44	23	70
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	7	13	5	26
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所はぎわら	4月	4	11	118	134	267
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	9月			2	7	9
社会福祉法人むべの里光栄	あすとびあ光栄在宅介護支援センター	4月				3	3
社会福祉法人むべの里光栄	ホール光栄在宅介護支援センター	10月		2	1	33	36
社会福祉法人むべの里光栄	ケアタウン日の山在宅会議支援センター	10月		6		37	43
(株)河村福祉サービス	(株)河村福祉サービス	4月			31	15	46
(株)河村福祉サービス	(株)河村福祉サービス海の家	4月			12		12
(株)河村福祉サービス	(株)河村福祉サービス宇部南	4月			23	1	24
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	1			12	13
社会福祉法人 ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	4月			5		5
生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月			24	11	35
(株)ニチイ学館	ニチイケアセンター西岐波	10月					0
社会福祉法人 博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	3	3	154	6	166
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅介護支援センター	4月	1		16		17
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月			8		8
社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	4	1	9	23	37
(株)愛憂会	ケアマネセンター未来	4月			12		12
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	2	3	93	18	116
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月			2	2	4
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1		3	5	9
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	1		23	1	25
山口アール石油(株)	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月			12		12
合同会社 和み会	なごみ居宅介護支援事業所	4月		1	15	12	28
ナースホーム立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月			1		1
有限会社ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	2		22	16	40
合同会社ひだまりねっと	合同会社ひだまりねっと	4月			13		13
医療法人太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	4月			3		3
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFun to Life	4月	4	3	71	46	124
社会医療法人いち樹会	尾中病院居宅介護支援事業所	4月					0
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月					0
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月			12		12
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	1		13	12	26
レナール企画	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月		1	7		8
株式会社マイプティット	なのはなの家	4月					0
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか苑	4月		1			1
合同会社美咲	居宅介護支援センター美咲	9月					0
総 計	39事業所		26	43	815	446	1,330

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（西部第1包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	3	1	109	30	143
社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月			12		12
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月	2	2	3	48	55
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			24	12	36
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月			17		17
山口宇部農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	1		13		14
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			17	12	29
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	1		41	12	54
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			15	6	21
医療法人博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月			39	1	40
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅支援事業所	4月			4		4
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	3	1	38	17	59
合同会社 壱番街	ケアマネセンターTONTON	4月			50	10	60
(有)アシステッドリビング村重	山ぼうし居宅介護支援事業所	4月	2	1	26	24	53
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里在宅介護支援センター東芝中	4月			12		12
立花居宅介護支援事業所	立花居宅介護支援事業所	4月			50	33	83
有限会社希	居宅支援事業所のぞみ	4月			12		12
株式会社愛優会	ケアマネセンター未来	4月				10	10
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月				12	12
特定営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月			11	13	24
社会福祉法人むべの里光栄	居宅介護支援事業所中山	4月	1		32	9	42
三和ヒューマンサポート(株)	西日本ケアプランセンター	4月			12		12
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月			16	16	32
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	1		22		23
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月		1		13	14
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業者まどか苑	4月			26	12	38
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月		1	31	9	41
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	1		27		28
合同会社優勇会	総合ケアセンターゆう	4月				12	12
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	1	29	136	771	937
株式会社サクラ	ケアハウス桜	4月			5		5
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月	2	4	28	158	192
社会福祉法人アスワン	アスワン山荘居宅介護	4月			1		1
医療生活協同組合健文会	虹の居宅介護支援事業所	5月	2		11		13
総計	34事業所		20	40	840	1240	2140

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（西部第2包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
一般社団法人宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月			15	1	16
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月		1	1	16	18
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1		21	15	37
株式会社YICトラスト	居宅介護支援事業所希望苑	4月				12	12
有限会社希	居宅介護支援事業所のぞみ	11月			10		10
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	1		12		13
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月			41	18	59
医療法人博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	3		203	66	272
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月		13	86	317	416
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月	1		37	16	54
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月			23	11	34
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所住吉	4月			7		7
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月		1	12	8	21
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月			3	12	15
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月			31		31
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月			13	23	36
社会医療法人尾中病院	尾中病院居宅介護支援事業所	4月			21		21
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	9月				2	2
株式会社 愛優会	ケアマネセンター未来	3月			18		18
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月				5	5
合同会社和奏の響	居宅介護支援事業所結和	4月			4		4
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月		1		3	4
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	2		3		5
社会福祉法人アスワン山荘	アスワン山荘居宅介護支援事業所	5月					
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	11月					
総 計	25事業所		8	16	561	525	1110

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（中部1包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	10	30	506	674	1,220
一般社団法人宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	2		115	40	157
有限会社本池	上宇部居宅介護支援センター	4月		2	88	71	161
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	1	1	27	6	35
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			37	11	48
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月		1	11	9	21
社会医療法人いち樹会尾中病院	社会医療法人尾中病院	4月			3		3
社会福祉法人 神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月			7	12	19
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月		1		39	40
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	4月	1		7		8
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所はぎわら	4月	1		33	12	46
山口アポロ株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月			6	15	21
医療法人 和同会	宇部西在宅介護支援センター	4月	2		12		14
株式会社 レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月		1	18	3	22
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月	1		29	21	51
医療法人博愛会	寿光園指定介護支援事業所	4月	1		29		30
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護真センター	4月			5		5
社会福祉法人 むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	5		113	73	191
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	2		15	1	18
有限会社 フレンドサービス	フレンドサービス	4月	1		8	1	10
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2		165	71	238
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月			8		8
社会福祉法人ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	4月			8		8
合同会社和みの会	なごみ居宅介護支援事業所	4月			13	2	15
有限会社 片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	3月		1	12	2	15
合同会社 HACNAMATATA	ケアマネセンターfuntolife	4月			12		12
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	1		17	17	35
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月			24	12	36
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護事業所まどか苑	4月	1		5	12	18
株式会社 サクラ	ケアハウス桜ケアマネセンター	4月	4	3	36	51	94
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月				11	11
合同会社 和奏の会	居宅介護支援事業所結和	4月	1	1	23		25
株式会社 マイブテット	在宅介護支援センターなの花の家	4月	1	1	29	37	68
株式会社 かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	12月		1	1	23	25
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	11月		1	3		4
総 計	35事業所		37	44	1,425	1,226	2,732

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（中部第2包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初回		継続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月	1	1	14	1	17
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	4	1	115	88	208
サンキ・ウエルビィ株式会社	サンキ・ウエルビィ介護センター宇部	4月	2		81	45	128
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	1		59	27	87
社会医療法人いち樹会	尾中病院	4月			7	1	8
一般社団法人 宇部医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月			12		12
特定非営利活動法人きょう・生	ケアマネセンター共生	4月			19	2	21
医療法人 和同会	宇部西在宅総合センター	4月	1	1	62	39	103
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月		1	34	34	69
福祉生活協同組合さんコープ	さんコープ・宇部居宅介護支援事業所	4月	1		36	16	53
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	1	1	41	12	55
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			12	12	24
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月			42		42
山口アポロ石油株式会社	ドリームライフアポロ居宅介護支援事業所	4月	2		39	12	53
株式会社 姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	5	2	125	74	206
合同会社 ガンホーズ	指定居宅介護支援事業所たけのこ	4月			12		12
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	6月	1		8	1	10
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	2		34		36
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	2	1	18	17	38
まどか福祉サービス株式会社	居宅介護支援事業所まどか苑	4月			24	23	47
有限会社 ミセスヘルパー	喜楽苑居宅介護支援事業所	4月	3	3	2	46	54
有限会社フレンドサービス	フレンドサービス	4月		1	35	48	84
医療法人聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月		2	37	13	52
合同会社美咲	居宅介護支援事業所美咲	4月			32	11	43
合同会社優勇会	総合ケアセンターゆう	4月	1		22		23
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	5月		1	1	1	3
医療生活協同組合 健文会	虹の居宅介護支援事業所	4月			12		12
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	1	1	6	34	42
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月			29	1	30
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月	1		54	3	58
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFuntoLife	4月	1			9	10
有限会社ろしゅう	ろしゅう居宅介護支援センター	9月	1		6		7
合同会社壱番街	ケアマネセンターTONTON	4月		1	12	4	17
合同会社和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	1		6	1	8
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月		4	14	22	40
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月				12	12
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	8	123	83	215
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月		1	61	4	66
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所中山	4月	1	1		74	76
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	4月			18	44	62
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	2		78	5	85
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス海の家	4月			23	26	49
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月	1	1	16	8	26
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業所	4月	4		57	11	72
医療法人博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月		1	67	15	83
総計	45事業所		41	33	1,505	879	2,458

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（北部東包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人 アスワン山荘	アスワン山荘居宅支援事業所	4月	2		98	29	129
山口宇部農業協同組合	J A 山口宇部居宅介護支援事業所	4月			12	6	18
山岸内科	ケアホーム小郡ケアマネセンター	4月			34	28	62
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	1		12	6	19
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	8月		1		5	6
医療法人泉仁会	在宅介護支援センター豊生苑	4月		1	133	39	173
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月			15	12	27
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			24		24
株式会社 河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月			41		41
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス海の家	8月			7		7
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月		6	8	42	56
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所厚南	4月			28		28
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	12月				4	4
株式会社きわなみ	きわなみ居宅介護支援センター	4月			16		16
総 計	14事業所		3	8	428	171	610

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（北部西包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	
社会福祉法人扶老会	扶老会総合ケアセンター	4月	2	2	128	10	142
株式会社愛優会	ケアマネセンター未来	4月	1		91	80	172
有限会社希	居宅介護支援事業所のぞみ	4月		1	24	37	62
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月			12		12
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月			9		9
医療法人博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月			9		9
合同会社ブルーローズ	居宅介護支援事業所たいむ	4月			2		2
合同会社優勇会	総合ケアセンターゆう	4月			12	17	29
医療法人社団泉仁会	居宅介護支援事業所豊生苑	4月	3		48		51
有限会社楽庵	ケアマネセンター楽庵	4月	1	1	24	63	89
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	5月		1		11	12
総 計	11事業所		7	5	359	218	589

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（南部第1包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
医療生活協同組合 健文会	協立在宅介護支援センター	4月	8	5	133	152	298
医療生活協同組合 健文会	虹の居宅介護支援事業所	4月			12		12
社会福祉法人ひとつの会	居宅介護支援事業所宇部あいおい苑	4月		1		11	12
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月		1		35	36
社会福祉法人アスワン山荘	アスワン山荘居宅介護支援事業所	5月		1		10	11
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1		42	15	58
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	3	1	4	18	26
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	12月	1		3		4
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月			48		48
社会医療法人いち樹会	社会医療法人いち樹会尾中病院	4月			14		14
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	1		21		22
有限会社 本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月			20		20
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	2		28	12	42
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス	4月	2		45		47
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス宇部南	4月			12		12
株式会社河村福祉サービス	株式会社河村福祉サービス海の家	4月	1		37	6	44
社会福祉法人むべの里光栄	ケアタウン日の山在宅介護支援センター	11月		1		4	5
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	1	2	50	17	70
医療法人博愛会	さるびあ在宅介護支援センター	9月	1	1		5	7
サンキ・ウェルビィ株式会社	サンキウエルビィ介護センター宇部	5月		1		10	11
医療法人太白会	シーサイド病院居宅介護支援事業所	7月	1		8		9
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	1	1	16	28	46
合同会社和の会	なごみ居宅介護支援事業所	4月	1	4	18	17	40
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月				11	11
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月			2		2
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2		7	12	21
合同会社ひだまりねっと	ひだまりねっと	4月			24		24
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFuntoLife	4月	1		40		41
合同会社美咲	居宅介護支援センター美咲	4月	1		30		31
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里在宅介護支援センターはぎわら	4月		1		18	19
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	1	1	24	18	44
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	1	36	156	308	501
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月			12		12
総 計	33事業所		30	57	806	707	1,600

令和3年度 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント委託先一覧（南部第2包括→居宅）

設置法人	事業所名	契約月	件数				合計
			初 回		継 続		
			介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	介護予防支援	介護予防 ケアマネジメント	
合同会社いまむら居宅介護支援事業所	いまむら居宅介護支援事業所	4月	0	0	24	12	36
社会福祉法人ひとつの会	宇部あいおい苑	4月	1	0	24	4	28
社会福祉法人博愛会	宇部あかり園在宅介護支援センター	4月	0	0	0	5	5
一般社団法人宇部市医師会	宇部市医師会在宅介護支援センター	4月	1	0	42	29	71
有限会社片倉温泉くぼた	片倉温泉居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
医療法人和同会	宇部西在宅総合支援センター	4月	0	0	0	12	12
株式会社レナール	オアシスことしば在宅ケアセンター	4月	3	0	82	48	130
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス	4月	0	0	30	12	42
有限会社本池	上宇部居宅介護支援事業所	4月	0	0	23	1	24
社会福祉法人神原苑	神原苑在宅介護支援センター	4月	1	4	97	96	193
医療生活協同組合健文会	協立在宅介護支援センター	4月	8	1	123	20	143
合同会社かもめ	居宅介護支援事業所かもめ	4月	0	0	48	12	60
合同会社 壱番街	ケアマネセンターTONTON	4月	1	0	5	10	15
合同会社ひだまりねっと	合同会社ひだまりねっと	4月	1	0	18	3	21
株式会社姫先介護事業所	ケアマネセンター春	4月	2	0	9	21	30
医療法人 聖比留会	厚南セントヒル病院居宅介護支援事業所	4月	2	0	18	1	19
医療法人 博愛会	寿光園指定居宅介護支援事業所	4月	0	0	12	0	12
医療法人仁心会	昭和町共生苑在宅介護支援センター	4月	6	7	65	50	115
合同会社 和の会	なごみ居宅介護支援事業所	7月	1	0	5	4	9
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所博愛園	4月	5	17	91	217	308
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所東芝中	4月	4	12	104	109	213
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所	4月	1	1	7	5	12
社会福祉法人むべの里光栄	むべの里居宅介護支援事業所輝き	9月	0	1	0	7	7
三和ヒューマンサポート株式会社	西日本ケアプランセンター	4月	0	1	10	8	18
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス海の家	4月	2	0	35	1	36
株式会社 きわなみ	株式会社きわなみ	4月	0	0	12	0	12
社会福祉法人むべの里光栄	あすとびあ光栄在宅介護支援センター	4月	0	0	0	3	3
合同会社HACNAMATATA	ケアマネステーションFunToLife	4月	0	0	24	0	24
株式会社河村福祉サービス	河村福祉サービス宇部南	4月	1	0	30	7	37
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ	ここからサポートセンター	4月	9	3	81	36	117
ホームナース立花株式会社	立花居宅介護支援事業所	4月	1	0	7	0	7
山口県農業協同組合	JA山口県介護支援センター宇部	4月	0	0	0	8	8
株式会社マイプティット	在宅介護支援センターなのはなの家	4月	3	0	29	12	41
社会福祉法人むべの里光栄	オパール光栄在宅介護支援センター	6月	1	0	10	0	10
合同会社和奏の響	居宅介護支援センター結和	4月	0	0	10	0	10
医療法人和同会	宇部リハビリテーション病院在宅支援センター	9月	1	1	5	3	8
社会福祉法人むべの里光栄	ケアタウン日の山在宅介護支援センター	7月	0	0	0	9	9
特定非営利活動法人 きょう・生	ケアマネセンター共生	12月	0	1	0	4	4
総 計	38事業所		55	49	1092	769	1861

**令和 4 年度（2022年度）
宇部市地域包括支援センター
事業計画**

健康福祉部 地域福祉課・高齢者総合支援課

令和4年度 宇部市地域包括支援センター事業実施方針

宇部市では、第8期宇部市高齢者福祉計画の中で、基本理念（目指すまちの姿）として『高齢者が「元気」「活躍」「イキイキ」と世代を超えて支え合う、地域共生のまち・うべ』を掲げています。地域包括支援センターは、上記の基本理念を実現するために、地域の現状・課題を捉え、その課題を解決するために事業を実施することとします。令和4年度本事業を実施するにあたり、地域包括支援センターは下記の重点施策に取り組みます。

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が介護予防について関心を持ち、普段の生活の中で積極的に取り組むことができるよう介護予防に関する正しい知識や技術の普及・啓発を行う。 ・身近な地域でのサロン等の住民主体の通いの場に積極的に関与し、高齢者の健康課題の把握とフレイル予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。
2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症になってもできる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、早期の相談や家族の支援体制を強化する。（認知症カフェの開設・開催支援等） ・認知症サポーターの養成等により、地域住民や職域に対して認知症に対する理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。 ・認知症当事者や家族、プラチナサポーターとともにチームオレンジを構築する。
3 地域支援体制の強化
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括ケアシステム」をさらに進め、分野横断的に連携して相談対応ができる体制づくりを行い、ネットワークの拡大強化を図る。 ・民生児童委員や関係機関等とともに高齢者が孤立することのないよう地域での見守り支援を行う。 ・生活支援コーディネーターや住民等と協働で地区単位での支え合い会議を開催し、地域課題の把握や解決に向けた協議を行う。
4 アウトリーチ等を通じた継続的支援
<ul style="list-style-type: none"> ・支援関係機関等との連携や地域住民とのつながりを構築する。 ・複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。
5 社会参加に向けた支援
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的孤立等の課題を抱える人に対し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行い、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

○成果指標については、地域の特性等に応じて各地域包括支援センターが設定することとします。

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

東部第1地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・人が集う場所で相談や介護予防や健康づくりなどについて啓発する（6回以上）・地域で行っているサロン（6か所）や認知症カフェ（1か所）、その他のサロンに積極的に参加する。カフェほうかつにて介護予防に関する講話や実技の実施。（4回程度）・医療や保健・福祉など専門職と連携し健康に対する意識の向上やフレイル予防の支援を行う。（3回以上）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・サロンや地域住民が集う場を活かして介護予防・健康づくりの啓発を行う。月1回開催しているカフェほうかつで介護予防など生活に役立つ講話や実技を行う。また、地域・保健福祉支援チームや民生委員、福祉委員等と定期的に情報交換を行い新たなサロンの立ち上げ支援を行う。・地域・保健福祉支援チームと協働してスーパーや金融機関での看護師や保健師、社会福祉士、介護支援専門員による健康や福祉、生活等に対する相談対応や啓発等を行う。（年金月）・今後も継続して生活機能が低下している高齢者に対してパンフレット等を用いて介護（予防）サービスが利用できるように支援や調整を行う。（随時）

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・認知症やその疑いのある方について早期の相談や本人・家族の支援体制が整えられるように関係機関や民生委員、地域住民に対し認知症に対する理解を深めていただく。（カフェほうかつ、サロンや民生委員協議会で認知症に関する理解の啓発や認知症サポーター養成講座の開催）（各校区3回以上）・既存の認知症カフェへ参加し支援の協力を行う（6回以上）・東部第2包括や地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会、関係機関と協力し地域の方に認知症に関する理解を深めていただくイベントの開催の検討（1回）・認知症当事者や家族、プラチナサポーターとともにチームオレンジが構築できるように検討会議や活動を行う。（1か所活動できることが目標）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・サロンや民生児童委員協議会やカフェほうかつにて認知症や疑いのある方について早期に相談できるように講話や啓発を行う。自治会やサロン等で認知症サポーター養成講座の開催・認知症カフェ開催の協力・地域住民等に認知症に関する理解を深めたり啓発目的のためのイベントの開催を行う。・ほうかつカフェにて認知症当事者やプラチナサポーターとともに認知症の症状や対応方法等について学ぶ、集いの場を提供する。また、地域住民や福祉事業所とともに構築できないか検討会議の開催や活動の検討。

3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会と協働、また福祉なんでも相談担当者等と連携し相談対応の体制作りや支えあい会議、地域ケア会議や個別の地域ケア会議等で地域課題の抽出を図り必要な支援や社会資源の創出に取り組む。（各校区2回以上）・コンビニやスーパー、美容院、病院等の新たな関係機関のネットワークの構築を図り見守りや支援体制を強化していく。（6か所以上）・民生児童委員協議会や介護福祉施設などと連携を図り高齢者やその他問題を抱える世帯の見守りを行う。（随時）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・上記関係機関や福祉なんでも相談担当者と連携を図り相談対応、情報共有を行い協働して支援対応ができるようにする。また、支えあい会議や個別の地域（個別）ケア会議の開催を行い地域の課題をの抽出や解決にむけて支援を検討する。・コンビニやスーパー、美容院、病院等に訪問し顔の見える関係作りを行い見守りの支援体制を作る。・民生児童委員や医療・介護福祉関係者等と協働し高齢者や問題を抱える世帯の見守りや支援を行う。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・複合的な問題を抱えている世帯や地域について、地域包括支援センター、地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会、民生児童委員、地域住民等と顔なじみの関係を作り関係機関の協力を得たり情報共有をして解決に向けて支援していく。（毎月） ・進捗状況を含め、関係機関等とチームで情報共有、チームで相談しながら支援していく。（随時）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターと日々の情報共有を図る。行政や地域・保健福祉支援チームや社会福祉協議会と定期的に情報を共有する機会を持つ。 ・民生児童委員と顔見知りの関係を作る。 ・サロンや地域包括支援センターが主催するサロンに参加し地域住民とつながり情報を得る。 ・問題を抱えている世帯について継続して関係機関と相談しながら支援方法を検討する。

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・圏域に社会的孤立等の課題を抱えている方がどの程度存在するのか実態把握を行う。また、地域の社会資源や支援メニューについて地域包括支援センターや行政、地域・保健福祉支援チーム等と連携しながら支援を行う。（随時）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターや地域・保健福祉支援チーム、民生児童委員や地域住民から社会的孤立等の問題を抱えている方の情報を得る。（サロンや民生児童委員や訪問等） ・圏域内で利用できる社会資源や支援などを把握し必要と思われる方に提案や調整、支援を行う。（地域包括支援センターや地域・保健福祉支援チーム、行政等と情報共有、協働しながら行う）

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

東部第2地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">健康福祉相談室の継続開催。店舗を活用した相談窓口周知活動 参加者数300名地域サロン教室などあらゆる場面を活用した新総合事業の普及啓発広報誌を年3回発行し、各関係団体とのネットワーク構築を行う保健事業と介護予防の一体的な実施 各校区1団体以上
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">地域住民を対象とした介護予防・健康づくりに関する知識の提供、普及啓発に取り組む。看護師による健康福祉相談室を継続実施し、介護予防普及活動に取り組む。店舗にてチラシ配布活動を行い、健康に関する知識の普及活動や相談場所の周知を行う。身近な地域のサロン等、地域の集まりの場を活かした健康づくりややまぐち元気アップ体操等住民主体の取り組みを支援・推進する。支え合い会議を活用しながら、地域サロンなど地域の集まりの場の創出や地域主体の取り組み、有償ボランティア立ち上げ支援について支援を行う。地域サロンや校区行事、各関係団体との集まりの場を活用した新総合事業普及啓発を実施。フレイル予防に着眼した支援を行い、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none">認知症サポーター養成講座 登録者数200名以上（両校区 1回以上）認知症カフェ開催に向けた取り組み 認知症啓発イベント 2回以上プラチナサポーターと共にチームオレンジ構築活動 各校区1回以上
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">両校区において、認知症サポーター養成講座を開催することにより認知症の理解や見守りの重要性を啓発するとともに地域見守り体制構築の支援を行う。市と連携し、小中学校における認知症サポーター養成講座の開催に協力する。認知症高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため早期の相談や家族の支援体制を強化する。地域拠点において、認知症の方や家族、支援者が集まって悩み等を話せる認知症カフェ開催に向けた取り組みとして、認知症啓発イベントを実施する。認知症当事者や家族、プラチナサポーターと共にチームオレンジを構築する活動を各校区において1回以上実施し、地域団体と共に組織化・サービス創出について取り組む。

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い会議開催 ・地域（団体・支援者）との情報共有 	各校区 5 回以上 各校区 5 回以上
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> ・支え合い会議を活用しながら各関係団体と連携を図り、地域の見守り体制構築に向けた取り組みを実施していく。 ・地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図る。 ・社会福祉協議会や地域保健福祉支援チームと連携し、市の健康づくり事業に参加協力する。 ・民生委員協議会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る。 	

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチによる把握・訪問件数 ・関係機関等へのアウトリーチ機関数 	50 件 30 機関
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> ・サロンや健康教室等に参加し、地域住民や支援関係機関等との連携との繋がりを構築する。 ・複合化、複雑化した課題を抱ながらも支援が届いていない人を把握し、家庭訪問及び同行支援など継続的な支援を行う。 ・課題解決のために関係機関等へのアウトリーチ活動を実施する。福祉分野に限らず、地域住民や郵便局、新事業所等、分野を超えたネットワークの拡大を図る。 ・地域住民に対する学習会や交流、地域福祉活動へのきっかけ作りや参加促進等に関する取り組みを実施し、介護、子育て、障害など地域生活を支援する担い手を育成する。 	

5 社会参加に向けた支援

成果指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援会議を通じた継続的支援体制の構築 ・課題やニーズ把握及び課題解決策の提案件数 	開催回数 5 回 5 件
事業計画（具体的な取組）	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的孤立等の課題を抱える人に対し、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行い、社会との繋がりづくりに向けた支援を行う。 ・重層的支援会議を通じて、関係機関で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワーク作りを行う。 ・利用者のニーズを踏まえた社会資源とのマッチング支援を実施し、マッチング後の定着支援と受け入れ先への支援を実施する。 ・個別支援から課題やニーズの把握及び改善策等の提案を実施していく。自立支援に向けてどのような支援体制が必要か検討し、地域に必要な資源や課題を地域や保険者に提案していく。地域・保健福祉支援チームや生活支援コーディネーター等と連携し、第2層協議体（地域ケア会議、地域支え合い会議）などを活用し、新たな支援の創出に向けた取り組みを行う。 	

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

西部第1地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
健康意識向上・介護予防活動に向けた取り組み 5回 新たな集いの場づくり 1か所
事業計画（具体的な取組）
○自身の健康状態を理解した上で、健康とフレイル予防・感染予防などの知識を普及する。 ○現在介護予防に取り組んでいない自治会や団体に対して活動を促す。 ○健康や介護予防に対する関係機関との連携や相談の場を設ける。 ○厚南市民センター地域・保健福祉支援チームと協働で実施を継続していく。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
認知症サポーター養成講座。 3か所 新規認知症カフェ開設支援。 1か所 既存の認知症カフェの共催支援。 1か所 チームオレンジの編成に関わる活動。 既存のSOS模擬訓練継続及び新たな開催場所の取り組み支援。
事業計画（具体的な取組）
○関係機関や地域住民に対して認知症サポーター養成講座などを行い、チームオレンジについても普及啓発していく。 ○認知症だけでなく地域全体をみながら早期の相談支援に対応する為、医師や認知症初期集中支援チームなどの専門職と協力し、併せて家族支援も行う。 ○対応困難なケースについて部署内で事例検討する。 ○認知症SOS模擬訓練、認知症カフェ（おれんじかぞく）を継続して開催する。

3 地域支援体制の強化

成果指標
地域の住民、生活支援コーディネーター、支援チーム、地域包括で協議を開催。 2回 ブロック会議、地域個別ケア会議の開催。 2回 関係機関と連携して、地域住民に向けた地域づくりや見守り体制等の研修会・勉強会を開催。 2回
事業計画（具体的な取組）
○地域の見守り活動の推進に向けた意識啓発を継続する。 ○地域課題の把握の為、地区民生委員協議会への参加継続。 ○福祉委員協議会・自治会長などの会議にも可能な限り参加して顔の見える関係性をつくる。 ○ブロック会議を開催する。 ○必要と思われる事例について、関係者とケース会議を開催する。 ○他の団体やサロン主催者などについても協力し合える関係づくりに努める。 ○地域の住民、生活支援コーディネーター、支援チーム、地域包括で情報交換・課題解決方法の検討などを行う。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
支援関係機関等との連携体制づくり 新規の連携先2件 地域団体、サロンなどへ働きかけて情報提供などの協力を要請する
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の周知 継続して「福祉なんでも相談窓口」の周知に努める。 ○新たな支援関係機関との支援体制づくり 一層幅広い関係機関に対して「福祉なんでも相談窓口」を周知する。 ○地域住民や地域の団体との連携を継続し、支援が届いていない人の把握を進める。 地区民生委員協議会への参加、協力体制づくり 日常業務の個別ケース対応においても自治会連合会など地域団体を巻き込んで行く。 ○支援について拒否的な対象者に対しても、直接対面したり継続的な関わりが持てるように働きかけを行う。

5 社会参加に向けた支援

成果指標
地域の社会資源や支援メニューの洗い出し 一覧資料作成 社会的孤立等の課題を抱える人が相談しやすいように窓口を拡大 出張相談窓口 年4回 福祉分野以外の団体との連携ネットワーク拡大 2団体
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の周知を継続する。 ○民生委員協議会など福祉分野の協力関係を一層強力なものとする。 ○地域の取り組みに対する支援を継続することで福祉分野以外とのネットワーク構築に努める。 ○福祉分野以外の団体についても支援体制への協力を依頼する。

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

西部第2地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、健康教室等、地域の集まりの場を生かして介護予防の取り組みを継続実施する。・新規相談時や更新時に介護保険制度や総合事業について説明を行い、本人の希望や状態に応じた適切なサービスの利用につなげる。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・5か所の健康教室で感染対策を行いながら、体操や体力測定等を行い、運動機能向上を目指す。（月平均6回）・地域行事、健康教室等で健康診断の受診を促すことで、健康づくりの意識付けを行う。・サロンや健康教室等、地域住民が集まる場所で、総合事業の説明を行い、普及・周知活動を努める。・黒石地区各自治会単位で地区社協主催のもと、地域・保健福祉支援チームと合同でフレイル講座を行い、要支援・要介護状態の予防や改善を図る。（2か所開催）

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・認知症地域支援推進員を中心として、チームオレンジの構築に向けて、プラチナサポーター・地域・保健福祉支援チーム等と連携を図り、認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の力を生かした見守り体制の充実を図る。・認知症高齢者やその家族の身近な相談窓口として、早期相談につながるよう、周知活動を行う。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・自治会および中学校で、黒石見守りネットワーク推進協議会や地域・保健福祉支援チームと共同で認知症サポーター養成講座を開催する。（地域や中学校で2回開催）・高齢者総合支援課と協力して、地域におけるプラチナサポーターの増員を目指す。・プラチナサポーターと協力し、現在実施している認知症カフェ（おれんじかぞく）の内容や開催回数の充実を図る。（隔月開催を目指して体制作りを行う）・各地域行事や健康教室やサロン等で、認知症に関するパンフレットの配布や講話を実施する。・個別の相談に速やかに対応し、医療機関や認知症初期集中支援チーム、居宅介護支援事業所と連携を図り介護保険サービス等の必要な支援につなげる。

3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域住民、地域・保健福祉支援チーム、関係機関と連携し、誰もが安心して暮らしやすい、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを行う。・「第三次ゆめプラン黒石」「原地区地域づくり計画」における地域づくりの取り組みに参加する。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・西部圏域における地域ケア会議や、処遇困難ケース等の地域ケア個別会議の開催を通して、地域課題の抽出を図る。・毎月、民生児童委員協議会定例会に、地域・保健福祉支援チームと一緒に参加し、情報交換を行い連携を図る。・両地区の地域づくり計画の部会に出席する。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢、障害、生活困窮、子ども等の生活を支える分野を超えた他機関との繋がり、情報共有で顔の見える関係作りに努める。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代や属性を問わない多様な希望に対応できるよう、介護、障害、医療、地域・保健福祉支援チーム、社会福祉協議会等の支援機関との繋がりを強化するため、月1回定例会議へ出席、研修に参加する。 ・ 支援に結びつかないような個別ケースに、月1回程度見守り訪問を実施する。 ・ サロン、健康教室、民生児童委員協議会、地域作りの部会等に参加し、福祉なんでも相談窓口の周知を行う。

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人や世帯が抱える課題を把握し、個々の状態や希望に沿った生活が実現できるよう、地域の社会資源などを活用し、社会とのつながり作りに向けて支援を行う。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉なんでも相談窓口連絡会議等で、地域福祉課等と連携、情報共有を図り支援を行う。 ・ 多種多様な相談に対応できるよう、研修会に参加し福祉なんでも相談員としてのスキルアップを図る。 ・ 地域の資源が活用できるように、社会資源の把握や個々のケースを通じて、民生委員や福祉委員等と連携を図り、支え合いの体制づくりに向けての働きかけを行う。

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第1地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・高齢者の方が介護予防について関心をもっておられるので、地域で行事や会議の時は介護予防の相談窓口として地域包括支援センターを紹介する。(年3回)・地域でのサロンや住民主体の場に積極的に出向いていく。(6ヵ所)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・フレイル予防の観点から、健康センターと連携して支援を行う。地域の要請に応じて、自治会やふれあいセンターなどに出向いて予防や健康体操など健康の維持に効果的な活動を紹介する。・今後も、介護保険の申請や更新について地域での会議の場等でパンフレットを活用した広報活動を行う。

2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように認知症カフェを地域の自治会館等で開催をする。(2か月に1回)・プラチナサポーターや認知症当事者、ご家族の方と会議開催(3か月に1回)・徘徊模擬訓練(年に1回)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・認知症カフェを地域の民生委員・福祉委員の方と協議をし、地域の自治会館(上宇部、小羽山)などで行うことを目標とする。・認知症地域支援推進員を中心とした学びの場を作るようにする。・地域の学校等に認知症地域支援推進員が出向いて、認知症に対する講義を行うなど認知症サポーターの養成を行う。・プラチナサポーターや認知症当事者、ご家族の方と話し合いの場を持ち当事者の関わり方について学び支援に活かす。・SOS模擬訓練を行い、より具体的な認知症の方との接し方を学ぶ。

3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域ケア会議を開催し、関係機関や地域の民生委員・福祉委員に参加をお願いし、支援を必要とする方が孤立しないような見守り支援を行う。(地域ケア会議 年 10回)・ブロック会議 2回/年
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・地域では、複合的な問題を抱える方が増えているため、会議では民生委員や福祉委員等の知見を持った関係者からの意見を集めるだけでなく出来るだけ当事者の人に参加をしてもらい、当事者が地域で暮らすために支援者として何が必要なのかを念頭に置いて実施する。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援関係者等と一緒に見守り訪問または家庭訪問を行う。（月50件）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 複合化、複雑化した家庭を訪問する際には、支援関係機関等と連携して、出来るだけ同行訪問する。支援者同士の地域で暮らしている人への対応について一緒に取り組む。 ・ 継続的訪問を行う際には地域の民生委員や福祉委員にも協力を依頼し、地域で解決できる力の開発を行う。

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトリーチをし見守り訪問をする中で、社会的なつながりの場所や環境を提示する。 ・ 閉じこもりの方への支援者登録（5名）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守り訪問や関係機関からの情報（民生委員・福祉委員）を得た際に、行政機関などの関係機関等と連携しながら支援を行う体制を構築する。 ・ 社会とのつながりのひとつとして、地域包括支援センターの存在の周知啓発を行う。

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

中部第2地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
地域のサロンや健康教室、集いの場において介護予防の周知啓発活動を行う。 2～3箇所/月
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・圏域内6箇所のサロンに参加し、感染対策等に留意しながら継続して開催できるよう支援していく。・各サロンの実情に応じて専門職派遣事業の利用促進、健康づくりや介護予防に取り組むことで参加者の意識向上を図る。・地域住民に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業の説明を行い周知していく。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
認知症に対する理解を深め、認知症高齢者や家族が安心して暮らせる地域づくりを目指す。 <ul style="list-style-type: none">・認知症サポーター養成講座の開催 50名・認知症カフェの開催支援 2箇所・圏域（3地区）でチームオレンジを結成 1つ・認知症SOS模擬訓練 1回
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・民生福祉委員や自治会、地域の集まり等で認知症サポーター養成講座を開催しサポーターを増やす。・認知症カフェに参加し、認知症の方やその家族、支援者が集まって悩み等を相談できる支援体制をつくる。・地域の方やプラチナサポーター、関係機関でチームオレンジを結成し活動していく。

3 地域支援体制の強化

成果指標
地域住民、地域・保健福祉支援チームや関係機関と連携し、子どもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指す。 <ul style="list-style-type: none">・支え合い会議の開催 新川地区：6回/年、鶉の島地区：4回/年・藤山地区は支え合い会議開催に向けての協議を行う
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・新川地区：地域の団体、地区社協、支援チーム等の関係機関と連携し、支え合い会議の開催。住民アンケート調査を行い、地域課題を抽出し解決に向けた協議を行う。・鶉の島地区：障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域共生社会を目指し催しの支援を行う。鶉の島会議参加。・藤山地区：支援チーム、市社協と協力しながら地域の実情を把握し、地域団体への理解を求め開催に向けて協議を行う。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・ 月1～2回地域のサロンに出席、年3回民生委員の集まりに参加、年2～3回子育てサークルの訪問・ 障害の地域ブロック会議に毎月参加
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・ 地域への周知活動を行い、地域住民との顔の見える関係づくりを行う・ 対象となる方の課題把握・分析を行う力をつけ適切な支援に繋ぐ

5 社会参加に向けた支援

成果指標
障害の就労事業所3件、生活困窮・発達障害等の方の相談窓口等の見学・訪問を行い専門機関の役割や相談方法を学ぶ
事業計画（具体的な取組）
地域の社会資源等を把握し、関係機関とのネットワーク・双方が相談しやすい関係づくりに努める

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

北部東地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・サロンや集いの場での介護予防に関する出前講座を実施。(3回/年)・郵便局など住民がよく利用する場所へ協力を要請し、健康チェックや介護相談を実施。(1回/3地区)・広報誌「北部東だより」の発行。(2回/年)・支援チーム、地域団体と連携し地域行事やサロンなどでスポーツ体験講座などを実施。(ボッチャ、ラダーゲッターなど)(3回/年)・高齢者施設等で体験出前講座を実施。(1回/年)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・閉じこもり、運動機能の低下、不活発のリスクなどに対して介護予防の重要性をサロンや住民がよく利用する場所を活用して普及・啓発を行う。・楽しく取り組める介護予防を目指し地区、サロン単位で体験講座などを開催・参加し、住民同士がつながれる場や外出できる場を増やしていく。・広報誌を年2回発行し当センターの周知をはかり認知してもらうことで、相談しやすい体制をつくる。必要に応じて医療・介護予防サービスなどにつなげていく。

2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域のサロン等へ認知症についての出前講座を行う。(2回/年)・支援チームと連携しながら、認知症サポーター養成講座の開催に向けて関係機関と協議・開催する(2機関)・認知症サポーター養成講座の開催(1回/3地区)・チームオレンジの立ち上げ(1チーム)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・認知症についての正しい知識の普及・啓発を行う。・当事者や家族が地域の中で安心安全に暮らせるように支援チーム、地域住民などと連携して地域づくりに取り組んでいく。・関係機関と連携しながら、チームオレンジの立ち上げを目指す。

3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域支え合い会議の開催・準備(3地区) 厚東地区(4回/年)、二俣瀬地区(1回/年)、小野地区(10回/年)・地域団体が開催する会議などへの出席(1回以上/3地区)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・地域支え合い会議や地域づくりの会議等において、地域課題の把握を行い、支援チーム等関係機関と連携しながら解決を目指す。・厚東地区 『ふくし連絡票』を活用し福祉委員、民生委員が連携した見守り活動が行えるよう、交流会を再開する。また、福祉委員が認知症高齢者への理解を深め実践的な対応ができるように認知症SOS訓練を行う。・二俣瀬地区 福祉委員と民生委員が連携して見守り活動が行えるように協議できる場を開催する。地域のサロン活動を支援する。さらに支えあい会議の在り方について地域住民と再検討していく。・小野地区 有償ボランティア「ハッピーライフおの」にて住民のニーズを反映したサービスを提供できるよう今後も協議を行う。高齢者の生活支援、空き家管理など地域課題の把握を行い地域住民が主体となり解決できる仕組みをつくっていく。 福祉関係の団体の連携強化について地域住民に投げかけていく。・誰もが住み慣れた地域で暮らしていけるように、関係者間での情報共有を行う。そのために、民児協定例会などの地域団体の会議などへ出席し、当センターの周知を行うことで相談しやすい体制をつくっていく。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援関係機関との連携件数・・・40カ所 ・ 継続的な伴走支援ケース件数・・・3件
事業計画（具体的な取組）
<p>民生委員・福祉委員、地域団体やリーダー、行政機関や事業所等との連携・協働を通じて、複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題を抱えているために必要な支援が届いていない人の早期発見や地域の状況等情報を幅広く得られるようネットワークの構築と活用、さらなる拡大充実を図る。</p> <p>また、支援が必要で、ニーズを抱えた相談者との信頼関係を構築し、多機関協働事業の活用などで課題を解きほぐすとともに関係機関間の役割分担を円滑に進め、アウトリーチ等を通じて継続的な伴走支援を行っていく。特に自ら支援につながる人が難しい人には丁寧に働きかけながら寄り添って支援していく。</p>

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会参加に向けた支援ケース数・・・5件 ・ 地域の社会資源や支援メニューとのコーディネート件数・・・5件
事業計画（具体的な取組）
<p>既存の制度・サービスでは対応できないニーズに対応するため、本人のニーズと地域資源との間を取り持つことで本人と社会資源とのマッチングや新たに社会資源の開拓を行い、本人や家族に寄り添って解決の見取り図を考え、社会とのつながりを回復できるよう参加支援を行う。</p> <p>特に、長く社会とのつながりが途切れているものに対しては早急な課題解決を行わず、段階的で時間をかけた支援を行う。</p>

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

北部西地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・いきいきサロンへの参加。(15回/年)・吉部地区で、介護予防教室を開催。(11回/年)・健康相談会で総合事業の周知活動を行う。(12回/年)・万倉健康福祉部会など地域団体と連携し、健康づくりの推進を図る。(5回/年以上)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・サロン代表者の交流会で包括の紹介と出前講座のメニューを配布し、サロンへ参加できるように周知する。・吉部の高齢者を対象に支援チーム・市社協と連携し、介護予防教室を継続的に開催する。・こもれびの郷や山口銀行船木支店での相談会、吉部マルシェなどにおいて、総合事業や介護予防の周知活動をする。・万倉健康福祉部会では万倉の健康増進に向けた行事開催などの支援を行う。

2 認知症高齢者支援(認知症バリアフリーの推進)

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・認知症サポーター養成講座の開催(5回以上/年)・認知症カフェの開催と周知(5回以上/年)・認知症SOS模擬訓練の開催(1回以上/年)・チームオレンジ構築に向けたプラチナサポーター交流会等の開催(5回/年)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・認知症サポーター養成講座を地域住民に対し開催し、認知症に関する正しい知識と理解を発信し、地域共生社会の実現を推進していく。・認知症カフェの開催においては、リモートと対面の両者の特性を生かし、圏域内の他事業所と連携を取りながら、気軽に話せる環境をつくる。・認知症SOS模擬訓練については、すでに認知症サポーター養成講座を行った団体の協力を得ながら地域と共同で開催し、認知症の方への対応を共有する。・プラチナサポーターと準プラチナサポーターとの交流会等を定期的で開催し、チームオレンジ結成を目指す。

3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・船木地区における地域支え合い会の開催(10回/年以上)・万倉健康福祉部会の会議を支え合い会議に2回/年以上位置付ける。・地区社協主催の福祉交流会への参加(2回/年)
事業計画(具体的な取組)
<ul style="list-style-type: none">・地域の団体や地区社協、支援チームと連携し、支え合い会議の開催を継続する。・万倉健康福祉部会の会議で地域課題をあげて、解決に向けた議論を進める支援をする。・福祉交流会では福祉委員をはじめ民生委員や自治会長と交流し、各校区の見守りの強化の周知を行う。・地域ケア個別会議を行い、地域課題を顕在化し、地域資源の創出へつなげていく。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンへの参加（15回/年） ・出張相談窓口の開催（12回/年） ・地域団体の取り組みへの参加（10回/年以上）
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・各校区のいきいきサロンに参加し、日常の気づきを拾い上げることができるよう努める。 ・商業施設等人が集まりやすい場所出張相談窓口を開催し、相談アクセスの向上を図る。 ・地域団体が実施する船木見守りネットワークやスポレク広場等に参加し、各校区の委員や地域住民、支援機関と連携し、情報収集やネットワークの構築を行う。支援が届いていない人の把握に努め、関係機関と連携を取りながら、継続的支援を行う。

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の把握と情報の更新 ・社会とのつながりづくりに向けた支援を行う
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネートを円滑に行うために、社会資源の把握や既存の情報の更新を行う。 ・課題が重層化している対象者の既存の制度では対応できないニーズに対応するため、対象者のニーズにあわせた地域資源や支援メニューとのコーディネートをを行う。 ・社会とのつながりが途絶えている対象者には、課題解決だけを目標とせず、段階的で時間をかけた支援を行う。

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

南部第1地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
地域のサロンに参加して、健康づくりや介護予防に取り組める内容や企画をサポートするとともに、参加者に周知啓発活動を行う。 ①サロンに参加してプログラム内容や運営継続をサポートする 2～3ヶ所/月
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・圏域内3箇所のサロンに毎月参加し、感染対策等に留意して継続した開催になるようバックアップする。・各サロンの実情に応じた、健康づくりや介護予防に関する企画を検討し、参加者の意識向上を図る。・住民に対して、圏域内のサロンや集いの場をチラシ配布等を通じて周知し、参加につなげる。・南部第2高齢者総合相談センターと合同で、フジグラン介護相談会を毎月開催し、健康や介護に対する相談を受け付けるとともに、周知啓発活動を行う。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
認知症に対する理解を深め、当事者と家族を支える地域づくりを目指す。 ①認知症サポーターの養成 30名/年 ②チームオレンジの構築 1企画/年
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・恩田地区では見守りネット協議会対象に、認知症サポーター養成講座と学習会を計5回開催する。岬地区では地域住民や事業所を対象に、認知症サポーター養成講座の企画・開催を目指す。・受講者にステップアップ講座を受講していただき、恩田・岬地区住民の中にプラチナサポーターを誕生させて、共に地域に根差した活動を広げていく。・現在のプラチナサポーターと共に恩田地区での認知症学習会を共に企画して開催し、チームオレンジの活動を始動する。・既存のサロン等地域資源を活用し、チームオレンジの構築を目指す。

3 地域支援体制の強化

成果指標
住み慣れた地域の中で、障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを目指す。 ①支え合い会議の開催 恩田地区 1回/2ヶ月 ②支援チーム、社協と共に支え合い会議充実のための打ち合わせ 1回/2ヶ月 ③南部ブロック会議（地域ケア会議）の開催 2回/年
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住みなれた地域で暮らすことができる仕組みを、地域住民や市支援チーム、社協等の関係機関と共に検討していくために「支え合い会議」を開催する。・恩田校区ではこれまで通り2ヶ月に1回開催して内容の充実を目指し、岬校区では開催に向けて地域団体へ理解を求め、協議を目指す。・南部ブロック会議（地域ケア会議）を開催し、地域課題の抽出や課題解決に向けた取り組みを検討する。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<p>①相談受付人数 400人/年、連携機関数 延べ200ヶ所/年 ②終結に向けた支援 200人/年</p>
事業計画（具体的な取組）
<p>①気軽に相談できる地域の窓口になる。 介護・健康相談会や、健康教室・サロン・子育てサークル等へ参加し、顔の見える相談者となる。地域での会議や民児協でのあいさつ等で地域内での周知をはかる。相談経路、相談内容に関わらず相談を受け止める。 ②相談時には、速やかに対応する。 関係機関との連携、課題解決し支援体制が整うまで相談者に寄り添う。その後も地域の見守りの一員として支援する。</p>

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<p>①参加支援プランの作成 5人/年 ②支援会議 10回/年</p>
事業計画（具体的な取組）
<p>①支援プランを作成し、地域課題や支援団体を活用する。 ②課題解決に向けた情報共有や連携が必要な時、支援会議を持つ。</p>

令和4年度 地域包括支援センター事業計画書

南部第2地域包括支援センター

1 介護予防に関する正しい知識の普及と実施

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域の高齢者が「介護予防」の知識を深め取り組むことで、住み慣れた地域で、できるだけ長く自立した元気な生活をおくることができる。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・サロンや集いの場、地域の会議に積極的に出向き、「介護予防」の周知・啓発・情報提供活動を行う。・体の機能が弱っている高齢者を早期発見するため、支援チームの保健師や関係機関とともに健康教室・相談会を定期的（毎月程度）に行う。・虚弱高齢者の方々に対しては、専門職派遣事業や総合事業の紹介を通して、要介護状態にならないよう機能回復の機会を提供、その利用を支援する。

2 認知症高齢者支援（認知症バリアフリーの推進）

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・定期開催の支え合い会議や健康相談会、地域のサロンで、支援の必要な方々やそれぞれの地域の課題について、地域と包括などの支援機関が情報共有できる。・地域の方々が「我が事」として、認知症を理解し、見守りの重要性に気づける。・各地区に1チーム、チームオレンジが誕生する。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・各地区で開催している健康相談会やサロンを継続するとともに、相談支援機関として支え合い会議や民生児童委員定例会等に参加し、情報共有できる体制をつくる。・地域の行事や会議に参加し、認知症への理解やチームオレンジ構築の啓発を行う。・チームオレンジ構築に向け、認知症サポーター養成講座を地域や職域で積極的に開催するとともに、プラチナサポーターとしての活動への誘いを行う。

3 地域支援体制の強化

成果指標
<ul style="list-style-type: none">・地域住民や地域の医療・福祉事業所、各支援機関が地域課題を共有し、達成に向けた具体策を検討し実行する。・民生児童委員や福祉委員とともに高齢者が孤立することがないように、継続的な見守り支援を行う。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none">・民生児童委員、地区役員、地区ふれあいセンターと引き続き情報共有をはかっていく。・地域・保健福祉支援チームや社会福祉協議会と協働で地区の支えあい会議等に参加する。・ブロック会議等を通じて医療・福祉の専門機関と地域課題の共有を図り、解決に向けて調整を行う。

4 アウトリーチ等を通じた継続的支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、支援関係者と密に情報交換できる関係づくりを構築して、介護、障害、子育て、生活困窮といった複数の分野に複合的な課題を抱える支援が届いていない人の支援に結びつける。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ（民生児童委員協議会、自治会連合会、地区社会福祉協議会、環境衛生、防災、支え合い会議）や、地域住民の集いの場（健康相談、各サロン、新天町ウォーキング等）、行事に参加する。 ・氷河期世代支援プラットフォーム、障がい等地域支援ブロック、福祉なんでも相談連絡会に参加する。 ・地域福祉課、地域保健福祉チームや包括支援センターの3職種と連携して、支援に結びつける。 ・活動参加を通じて、福祉なんでも相談窓口の周知に務める。

5 社会参加に向けた支援

成果指標
<ul style="list-style-type: none"> ・既存のサービスに応じられない人や世帯の課題に対応できるように、丁寧に時間をかけて伴走型支援を行う。
事業計画（具体的な取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会資源の把握、各支援機関の機能を習得し適切な支援につなげる。 ・担当地区に多く見られる8050世帯の就労していない50代の人や、精神に不安がある人に、関係支援者と同行訪問し顔の見える関係づくりを行う。

令和 4 年度（2022年度）
宇部市地域包括支援センター
収支予算書

令和4年度（2022年度） 地域包括支援センター収支予算書 まとめ

(円)

地域包括支援センター		東部1	東部2	西部1	西部2	中部1	中部2	北部東	北部西	南部1	南部2	
運営法人		社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 博愛会	医療法人 和同会	医療法人 博愛会	社会福祉法人 むべの里光栄	社会福祉法人 神原苑	社会福祉法人 アスワン山荘	社会福祉法人 扶老会	医療生活協同 組合 健文会	医療法人 仁心会	
歳入	包括的支援事業	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	19,522,000	14,527,000	14,527,000	19,522,000	19,522,000	
	第一号介護予防支援事業	4,758,920	7,494,000	7,200,000	4,400,000	7,800,000	7,162,000	2,199,960	2,392,000	5,590,800	7,757,950	
	指定介護予防支援事業	6,941,530	9,760,000	7,800,000	5,700,000	8,700,000	9,945,000	3,255,990	4,569,000	7,430,000	10,310,390	
	その他の収入	0	8,000	0	0	850,000	0	2,000,050	1,000	276,660	0	
	歳入合計	31,222,450	36,784,000	34,522,000	29,622,000	36,872,000	36,629,000	21,983,000	21,489,000	32,819,460	37,590,340	
歳出	人件費	包括的支援事業	16,599,840	17,290,000	14,878,000	17,768,000	19,126,000	16,792,000	11,959,480	12,169,000	14,020,910	13,286,394
		第一号介護予防支援事業	482,900	4,737,000	2,726,000	1,900,000	1,560,000	1,900,000	1,117,720	1,215,000	3,987,360	5,279,950
		指定介護予防支援事業	4,325,200	4,446,000	4,294,000	1,850,000	3,550,000	1,773,000	3,121,000	2,827,000	5,379,090	7,017,104
		計	21,407,940	26,473,000	21,898,000	21,518,000	24,236,000	20,465,000	16,198,200	16,211,000	23,387,360	25,583,448
	事務費	包括的支援事業	2,922,160	2,239,000	4,644,000	1,754,000	396,000	2,730,000	2,567,560	2,359,000	5,659,200	6,235,606
		第一号介護予防支援事業	4,276,020	2,757,000	4,474,000	2,500,000	6,240,000	5,262,000	1,082,240	1,177,000	1,603,440	2,478,000
		指定介護予防支援事業	2,616,330	5,315,000	3,506,000	3,850,000	6,000,000	8,172,000	2,135,000	1,742,000	2,169,460	3,293,286
		計	9,814,510	10,311,000	12,624,000	8,104,000	12,636,000	16,164,000	5,784,800	5,278,000	9,432,100	12,006,892
歳出合計		31,222,450	36,784,000	34,522,000	29,622,000	36,872,000	36,629,000	21,983,000	21,489,000	32,819,460	37,590,340	
収支差額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	